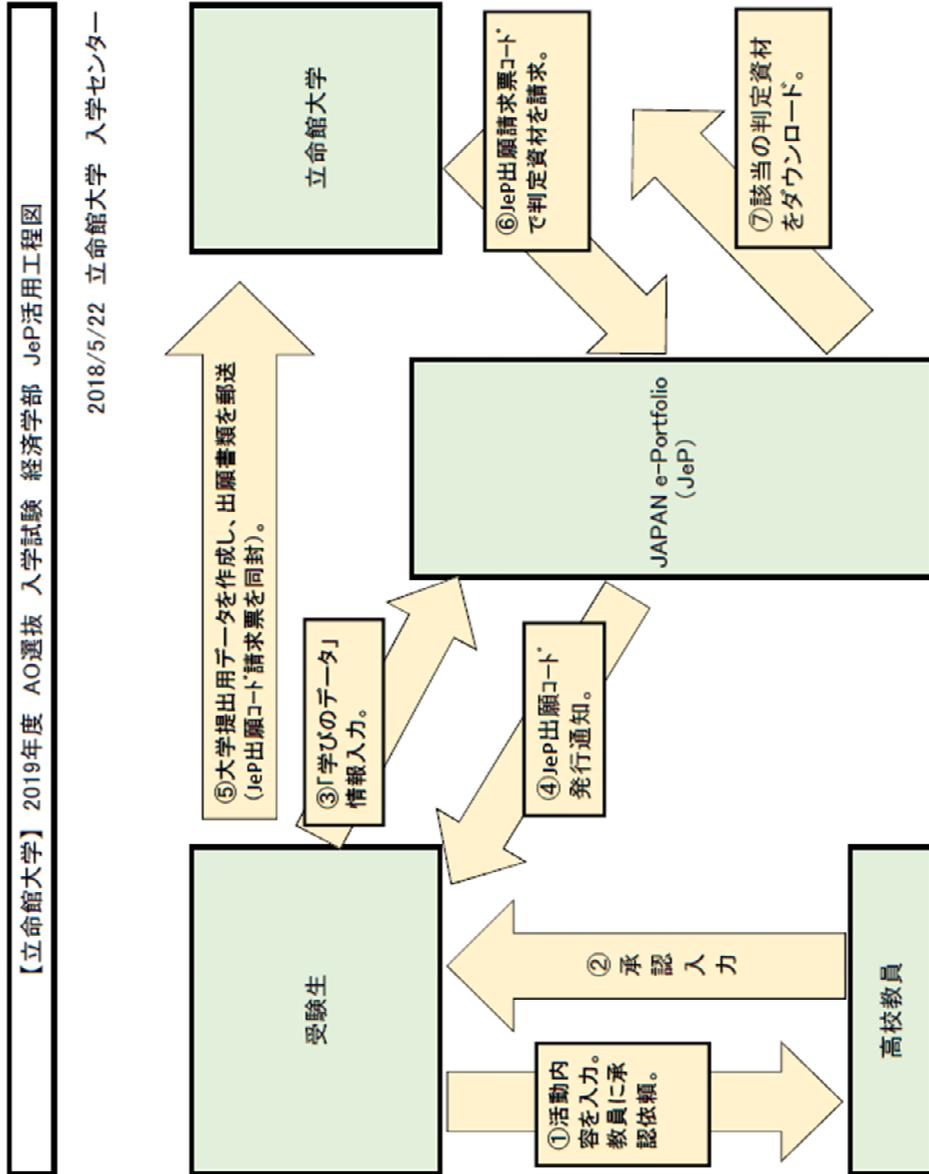


資料10. 各大学の入学試験において「主体性等」を評価する評価手法の調査・分析・開発（立命館大学）



『 JAPAN e-Portfolio 』を活用した学力の3要素評価のための「調査書等」評価手法の開発

- (1) 首都大学東京の入学選抜改革における取組み
 - 首都大学東京では、2021年度入学選抜以降、全ての入試区分において学力の3要素を評価する。
 - 学力の3要素のうち「主体性等分野」を評価するため、全ての入試区分において「調査書等」を合格者の判定に活用する。
- (2) JAPAN e-Portfolio 実証事業における取組み
 - JAPAN e-Portfolio を用いたデータ収集とその分析を通じ、首都大学東京の志願者・合格者・入学者それぞれの高等学校等段階での活動履歴の特徴を分析し、「調査書等」における評価項目の選定並びに評価方法の開発を行う。
- (3) 具体的な実行施策とスケジュール

① 2017年度首都大学東京在学向けWEBアンケート調査実施

- 調査期間：2018年1月下旬～2月中旬
 - 調査対象：本学学部生
 - 調査方法：WEBアンケート
 - 調査項目：JePの項目のうち調査書に記載される主な項目
- ※ 在学生に共通する項目や特徴を明らかにし、2018年度以降の検討のための仮説を立てる。

② 2019年度入学選抜における志願者のデータ収集及び分析

- 収集期間：2018年11月～2019年2月
 - 収集対象：多様な入試及び一般選抜志願者
 - 収集方法：JAPAN e-Portfolio に入力した情報を任意提出
 - 収集項目：JAPAN e-Portfolioで取得可能な8カテゴリ全72項目
- ※ 収集したデータは調査書評価手法開発のために活用し、合否判定には用いない。

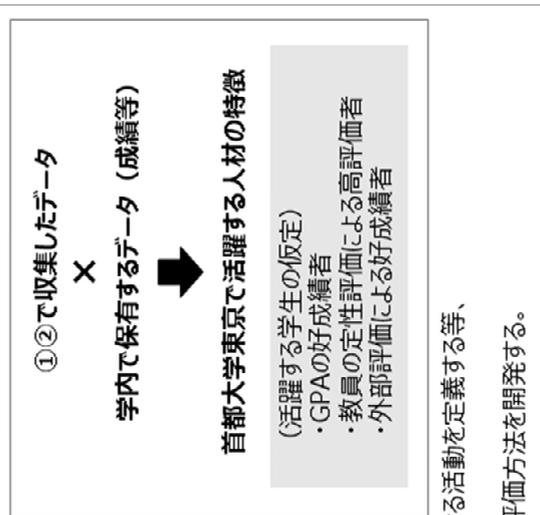
③ 収集したデータの分析及び評価手法

- ①で立てた仮説をもとに収集データを分析し、本学に入学する学生に求めたい高等学校等段階における活動を定義する等、評価項目の選定に資するデータを作成する。
- それらの評価項目を用いた評価手法（例：加点式、段階別評価等）の検討を行い、調査書等の評価方法を開発する。

(4) 長期ビジョン ★首都大学東京に入学して活躍する人材の活動履歴の特徴を明らかにし、それを入試で評価できる仕組みを作る。

質の高い入学選抜実施のためにデータを活用し、検証を繰り返す

- 入学者の高等学校等在籍時のデータ（ポートフォリオ等）、入学後のデータ、卒業後のデータを追跡し、常に、その時代に合った入学選抜、教育制度を改善するために、データを基にしたPDCAサイクルを回し続ける。



資料 1 2. 各大学の入学試験において「主体性等」を評価する評価手法の調査・分析・開発（群馬パース大学）

群馬パース大学の利用モデル

選抜の資料とはせず、今後の入学者選抜における主体性等の評価について検討するための情報として収集

